

コミュニティバス等の利用状況について

バス3

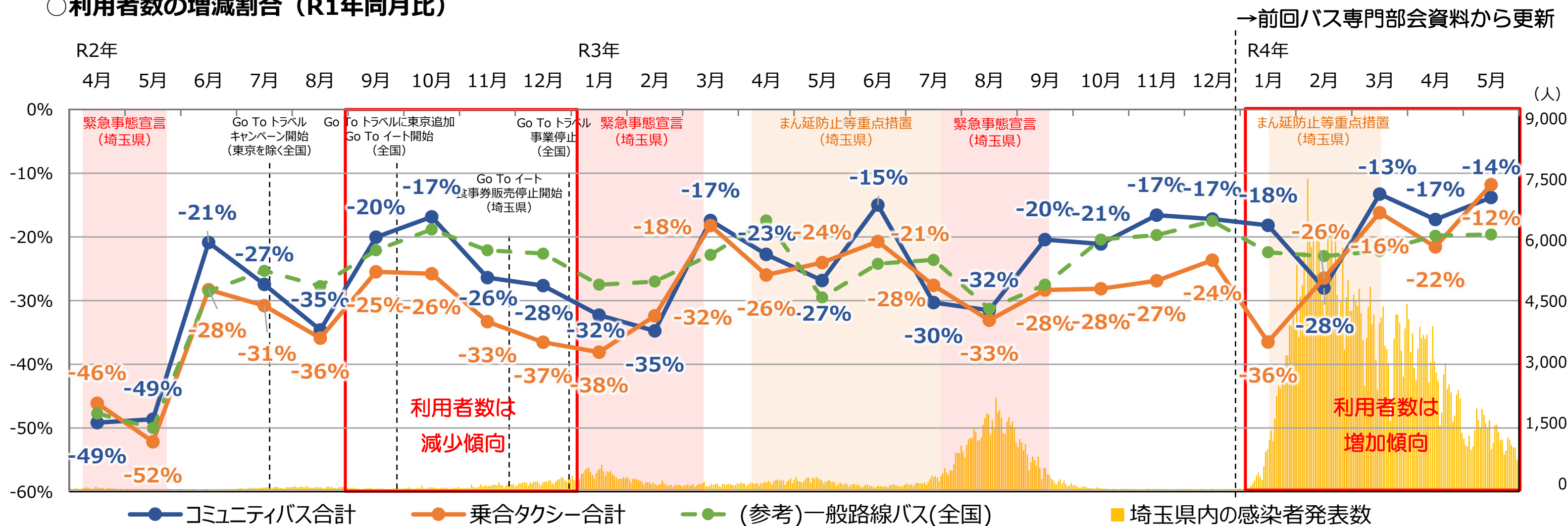
1. 新型コロナウイルス感染症によるコミュニティバス等への影響

- ・コミュニティバス、乗合タクシーの利用者数をR1年同月と比較すると、R2年4月以降のすべての月で減少している。
- ・R4年1月～R4年5月の利用者数は、それ以前と比べ増加傾向が見られたものの、増減割合は月毎にバラつきがある。

<新型コロナウイルス感染症に関するリスク>

- ・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、埼玉県においてR4年1月以降増加し、2月は減少傾向にあった。しかし、R4年3月21日のまん延防止等重点措置解除後再び増加する等、感染拡大状況は流動的である。

○利用者数の増減割合（R1年同月比）



※1 「(参考) 全国(一般路線バス)」は『新型コロナウイルス感染症による 関係業界への影響について (R3年2月末時点～R4年4月末時点まとめ) (R3年3月～R4年5月、国土交通省)』を基に作成
 ※2 「埼玉県内の感染者発表数」はNHKが各自治体や公的機関の発表数値を基にまとめている「都道府県ごとの感染者数の推移」のデータを基に作成
 ※3 休日運行の利用者数は集計に含めていない。(西区・岩槻区：H31年1-3月、岩槻区・見沼区：R3年6月)(コミュニティバス)
 ※4 実証運行の利用者数は集計に含めていない。(見沼区片柳西地区、北区吉野町地区、桜区大久保・中央区西与野地区)(乗合タクシー)
 ※5 並木・加倉地区のH31年1月の運行日数は3日のみであるため、R3年1月、R4年1月の値は並木・加倉地区を集計対象から除外している。(乗合タクシー)

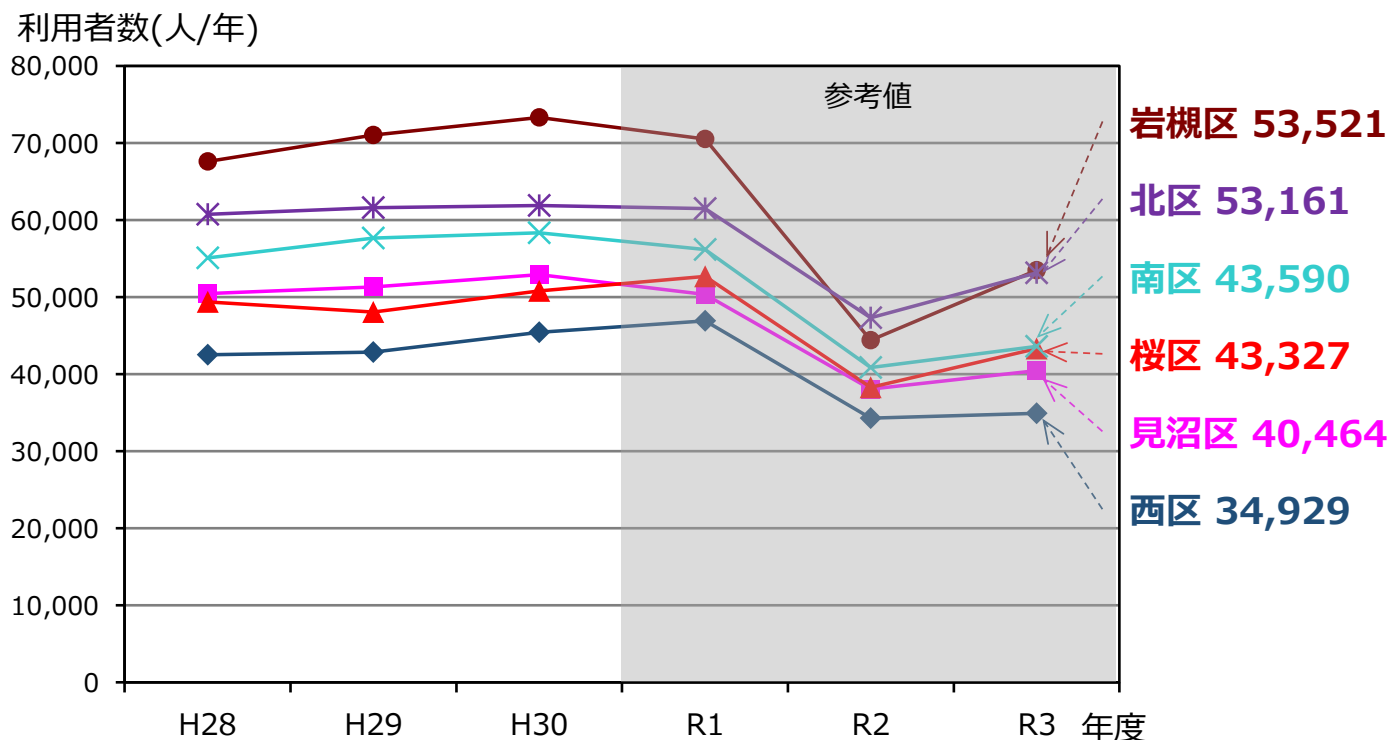
コミュニティバス等の利用状況について

2. 年間利用者数・収支率の推移 (H28年度 - R3年度)

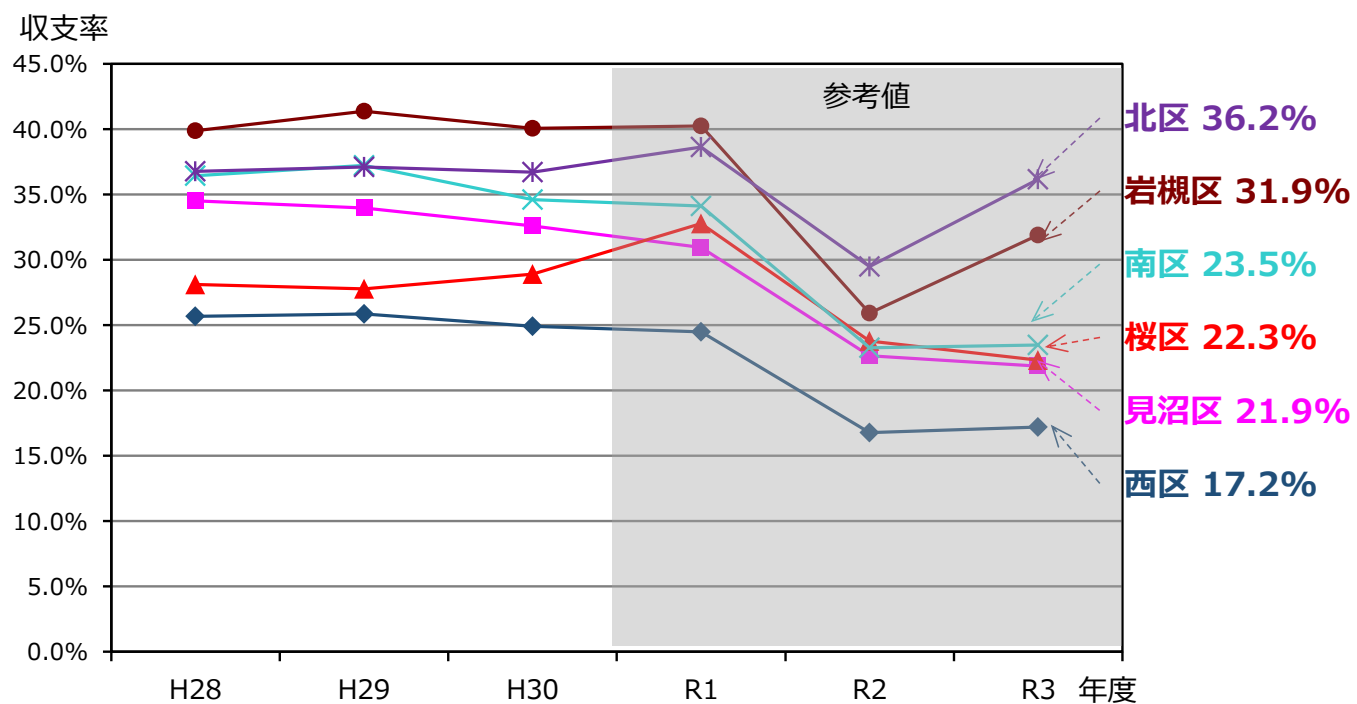
- ・R3年度の利用者数・収支率は、コミュニティバス・乗合タクシーの多くの路線でR2年度と比べ増加しているものの、コロナ以前の水準は下回っている。
- ・R4年3月の地域公共交通協議会において、R1年度～R3年度と同様にR4年度の収支率等を参考値扱いとすることが決定している。

コミュニティバス

○年間利用者数の推移 (H28年度 - R3年度)

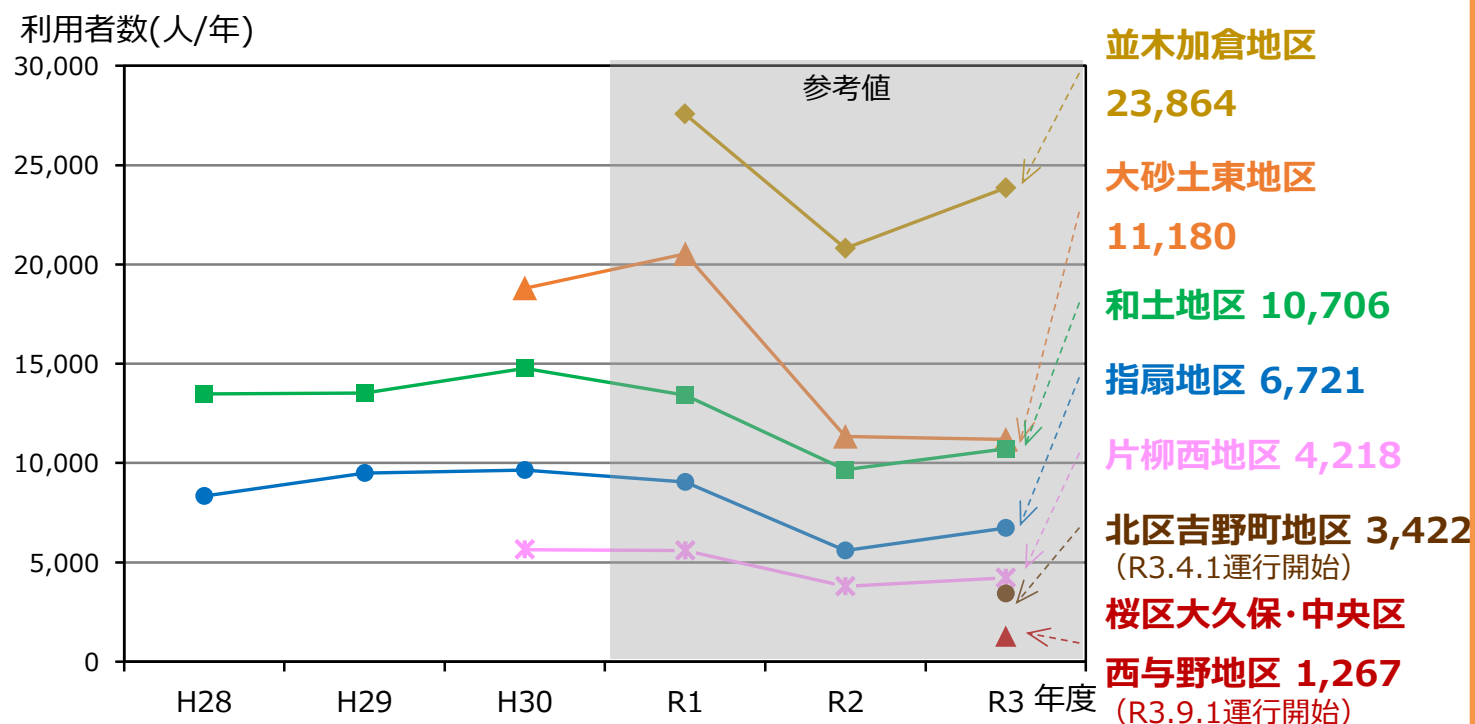


○収支率 (実績) の推移 (H28年度 - R3年度)

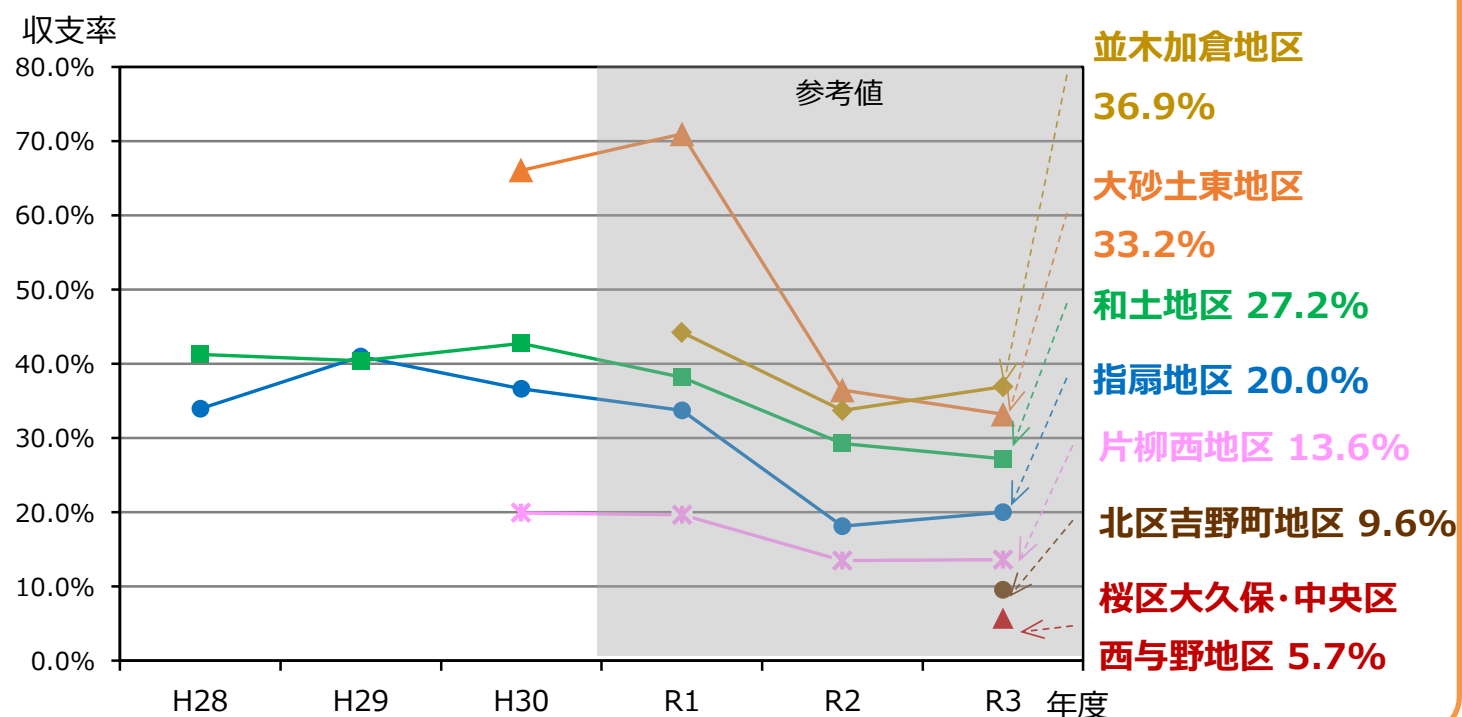


乗合タクシー

○年間利用者数の推移 (H28年度 - R3年度)



○収支率 (実績) の推移 (H28年度 - R3年度)



※1 休日運行の利用者数は集計に含めていない。(西区・岩槻区: H31年1-3月、岩槻区・見沼区: R3年6月) (コミュニティバス)
 ※2 収支率 = 運賃収入 (実績) ÷ 運行経費 (運行経費には車両償却費等は含まれない)